

POWER UP PRESS

vol.25
2008.9

編集・発行 学校法人 立川学園 企画広報部
〒840 0055 佐賀市材木2丁目2 4 TEL0952 27 7177
総合事務局
〒840 0831 佐賀市松原1丁目3 5 TEL0952 41 2771
<http://www.01-GROUP.com>

「学生のちからをつける」 学園の願いです。

受験生への大エール

とうとう決戦の9月。今まで頑張ってきた成果を十分に発揮できるように、本試験までに心掛けることを4つの時期に分けてみました。

今までの蓄積された実力も当然大切ですが、直前期に何をしたかも、意外に合否を左右します。焦る心を落ち着かせ、今何をすべきか、しっかりと考えて行動してください。



試験1週間前

学習面

まだまだ最後の悪あがきを！



- ・特に知識系の見直しを徹底的に。
- ・新しい参考書に手を出すより、今まで解いた演習問題や模試の見直しが効果的。

生活面



- ・早寝早起きを心掛け、本試験のときと同じ生活のリズムを作ること。
- ・交通機関や宿泊の予約手続は早めに済ませておこう。

試験前日

学習面

気持ちを落ち着かせよう！

- ・前日は暗記教科を見直す程度にしておくほうが気持ちも落ち着いて実力が出せる。
- ・試験でうまくいく姿をイメージし、気持ちを落ち着かせることも大切。



生活面



- ・地理に不慣れな場合、試験会場までの交通機関や所要時間などを確認しておくこと。
- ・受験票や筆記用具・時計など、受験当日に必要なものと、エアコンの有無に対応できる衣類の準備をする。
- ・準備が済んだら、お風呂にゆっくり入ってリラックスし、本番当日に備えて早く寝ること。

試験当日 本番前

学習面

最後まで諦めずに自信を持って挑もう！

- ・ケアレスミスをなくすために、自分の間違えるパターン（正しいものを選ぶ問題で、誤っているものを選ぶなど）を再確認する。
- ・深呼吸をして緊張感をほぐそう。



生活面



- ・朝食はしっかり取ろう。
- ・開始前に必ずトイレを済ませておこう。

本番終了後

学習面

次の試験に向けて気持ちの切り替えを！

- ・ただし、試験で判らなかったところは必ず確認をすること。後の試験で同じ範囲の問題が出題される可能性大。



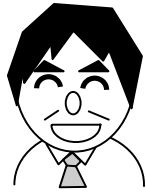
生活面

家に帰るまでが試験です



- ・気が抜けて、つい寄り道をしないように。そんなときは事故にも巻き込まれやすいので、早く家に帰って、試験の疲れを取ること。

自分の持てる力でやれるだけの事をやったら、後は「**果報は寝て待て**」でもよし。
合格発表を待たず、次なる難関、**面接試験の準備に入る**もよし。
ただし、**内定をもらうまでは、最後まで緊張感を保ち続けること。**



イワオ先生の 判断推理塾

第6回 図形編

夏も終わり、いよいよ本試験シーズンの到来です。

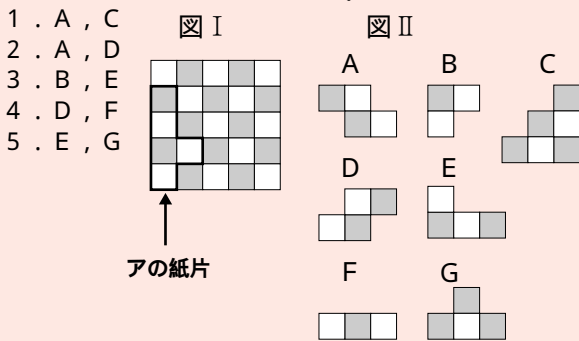
毎年この時期「あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ」と不安になる人も多いのですが、この春より一生懸命やってきた自分を信じ、自信を持って試験に挑むようにして下さい。自信をもつことで、きっと良い結果につながると信じています。

さて、今回のテーマは「図形のパズル」の問題です。いくつかの図形を組み合わせてある図形を組み立てていく問題です。まずは、例題を見て下さい。

例題：図Ⅰのように白黒の正方形の紙片を市松模様に並べて大きな25枚の正方形にする。図ⅡのA～Gのように正方形をつなげた紙片で図Ⅰをうめつくすとき、必要のない紙片のみを挙げているのはどれか。

ただし、A～Gは裏返して使用することはないものとする。なお、アの紙片がすでに1枚置かれている。

(国家Ⅲ種平成4年度)



解 答

さて、みなさんは、どうやって解きましたか？実際に、A～Gの紙片をあてはめて試行錯誤しながら解いた人もいるでしょう。中には、はさみで切り取ってあてはめた人もいないのでしょうか？

「図形のパズル」の解法ポイントは、ズバリ「面積」です。

- ①まず、図Ⅰのアの紙片以外の黒と白の正方形の枚数を数えましょう。黒い正方形が10枚、白い正方形も10枚あります。
- ②次に、A～Gの紙片に使われている黒と白の正方形を数えると、以下のようになります。

	A	B	C	D	E	F	G	計
黒い正方形	2	1	4	2	2	1	3	15
白い正方形	2	2	2	2	2	2	1	13

A～Gに使われている黒い正方形は全部で15枚、白い正方形は全部で13枚となります。

A～Gの紙片を全部使って、図Ⅰのアの紙片以外の部分を埋め尽くすならば、黒い正方形は15 - 10 = 5枚、白い正方形は13 - 10 = 3枚余ります。すなわち、必要のない紙片の黒い正方形と白い正方形の枚数を合計すると、それぞれ5枚、3枚であることがわかります。

- ③あとは、選択肢の2枚の紙片の黒と白の正方形の枚数がそれぞれ5枚、3枚となっている組み合わせを探します。

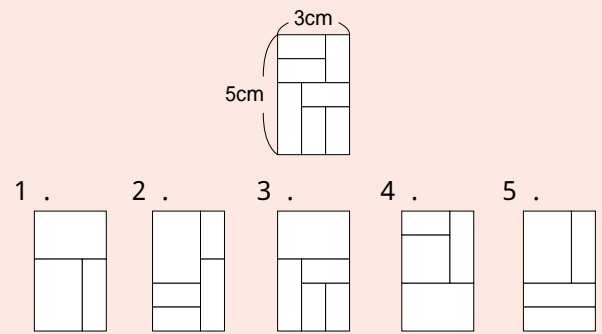
選択肢5以外にはありませんので、ここで正解が選択肢5であることがわかります。

じゃあ、選択肢を確認したときに該当する答えが複数出てきたらどうすれば良いのでしょうか？そのときには、実際にあてはめなければなりません。ですが、すでに答えはいくつかに絞れていると思いますので、ずいぶん時間の短縮になると思います。

次は、空間図形の問題です。

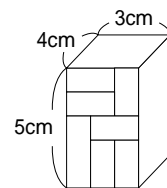
例題：1 cm × 2 cm × 3 cmの直方体を10個積み上げて大きな直方体を作った。その1つの面が次図のとおりであったとすると、この面と相対するちょうど裏側の面はどれか。

(高卒警察官平成11年度)



解 答 平面図形が面積ならば、空間図形は「体積」を考えるのがポイントです。

- ①1 cm × 2 cm × 3 cmの直方体を10個使用するので、大きな直方体の体積は60 cm³です。
- ②問題の図の面は、5 cm × 3 cmの長方形になっています。したがって、大きな直方体のもう1辺の長さをx (cm) とすると、5 × 3 × x = 60 x = 4 (cm) となります。図の面を正面と考えると、奥行きが4 cmの下図のような直方体になります。



- ③10個の直方体のサイズは1 cm × 2 cm × 3 cmです。奥行きが4 cmなので、手前の面から見えている7個の直方体は、裏側からは絶対に見ることはできません。したがって、裏側から見ることが出来る直方体の個数は10 - 7 = 3個だけです。

ということで、直方体が3個しか見えていない選択肢1が正解です。実際に直方体を組み立てていくのはたいへんな作業ですが、「体積」を考えるとカンタンですよね。

最後まであきらめずに頑張ってください。
みなさんの健闘をお祈りします！

